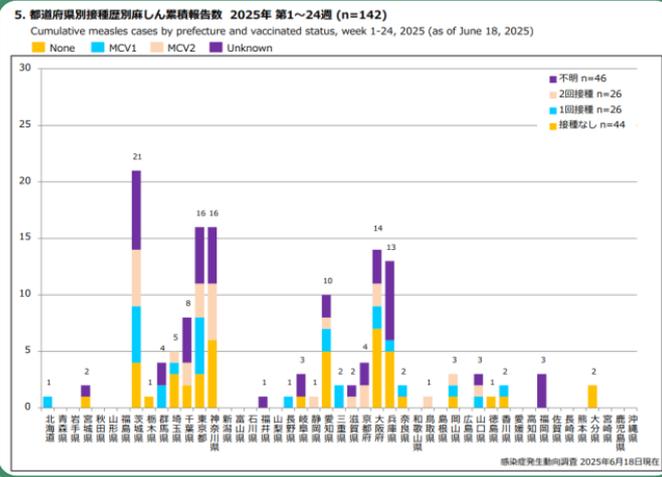
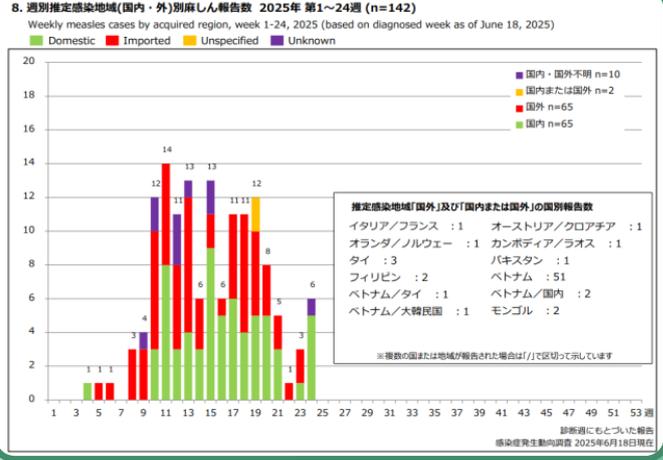
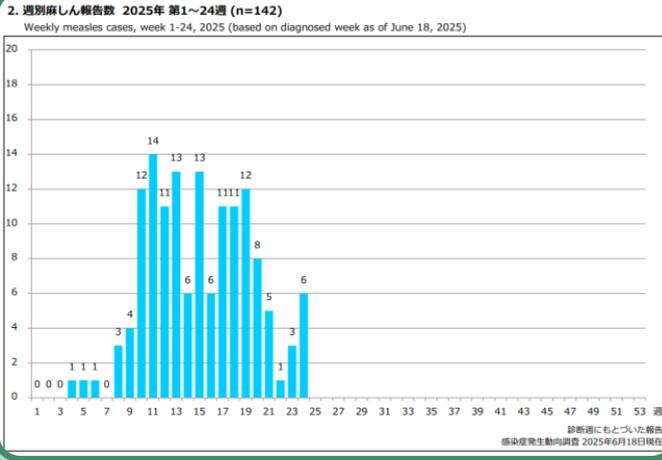




第24週：6/9~6/15
第25週：6/16~6/22

麻疹の報告が増加しています！！

発行日：2025年6月26日



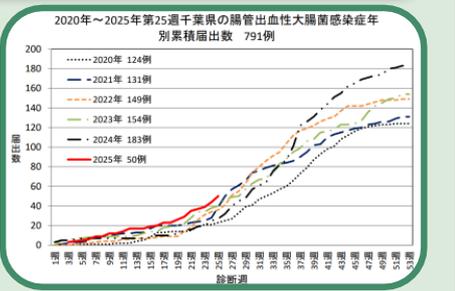
- 2025年第25週に入り、関東各都県から、合計7例の麻疹の報告がありました。
- 報告があった都県は以下のとおりです。

- ▼ 神奈川県 横浜市保健所 (2例)
 - ▶横浜市 麻疹 (はしか) 患者の発生について① (6月20日)
 - ▶横浜市 麻疹 (はしか) 患者の発生について② (6月20日)
- ▼ 茨城県 古河保健所 (1例)
 - ▶茨城県 はしか患者の発生について (6月20日)
- ▼ 千葉県 (2例) 柏市保健所 (1例)
 - ▶千葉県 麻疹 (はしか) 患者の発生について (6月21日)
 - ▶千葉県 麻疹 (はしか) 患者の発生について (6月26日)
 - ▶柏市 麻疹 (はしか) 患者の発生について (6月21日)
- ▼ 東京都 (1例)
 - ▶東京都 麻疹 (はしか) 患者の発生について (6月24日)

参考リンク
 ▶学校における麻疹対策ガイドライン 第二版
 ▶千葉県麻疹対応指針・千葉県麻疹対応マニュアル
 ▶麻疹Q&A (保育園、幼稚園、学校での麻疹の対応について)
 ▶麻疹Q&A (医療機関での麻疹の対応について)
 引用 ▶ 国立健康危機管理研究機構：麻疹 発生動向調査

腸管出血性大腸菌感染症が増加する時期に入ります！

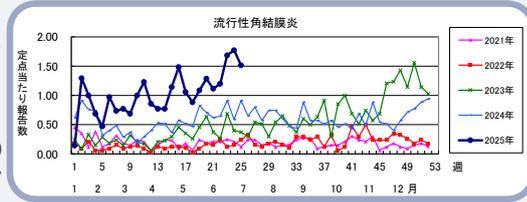
- 千葉県では、2025年第25週に県内医療機関から6例の届出があり、2025年の累計は50例となりました。
- 2025年は例年に比べ高い推移を見せており、夏にかけて発生が増加するため、注意が必要です。



参考 ▶ 千葉県感染症情報センター

流行性角結膜炎が急増しています！

流行性角結膜炎 (EKC) は、アデノウイルスによる感染症で、接触を介して広がります。特にD種とE種のウイルスが原因です。



感染力が強く、病院や家庭、職場での流行が見られます。症状は急性で、眼瞼浮腫や流涙、耳前リンパ節の腫脹を伴います。治療には対症療法が主で、接触感染の予防が重要です。

参考 ▶ 国立感染症危機管理研究機構 流行性角結膜炎

野田保健所管内感染症発生状況

全数把握疾患			結核		
3類	4類	5類	活動性肺結核	活動性肺外結核	潜在性結核
0	0	9	喀痰塗抹(+)	喀痰塗抹(-)	
百日咳 9件			0	0	0

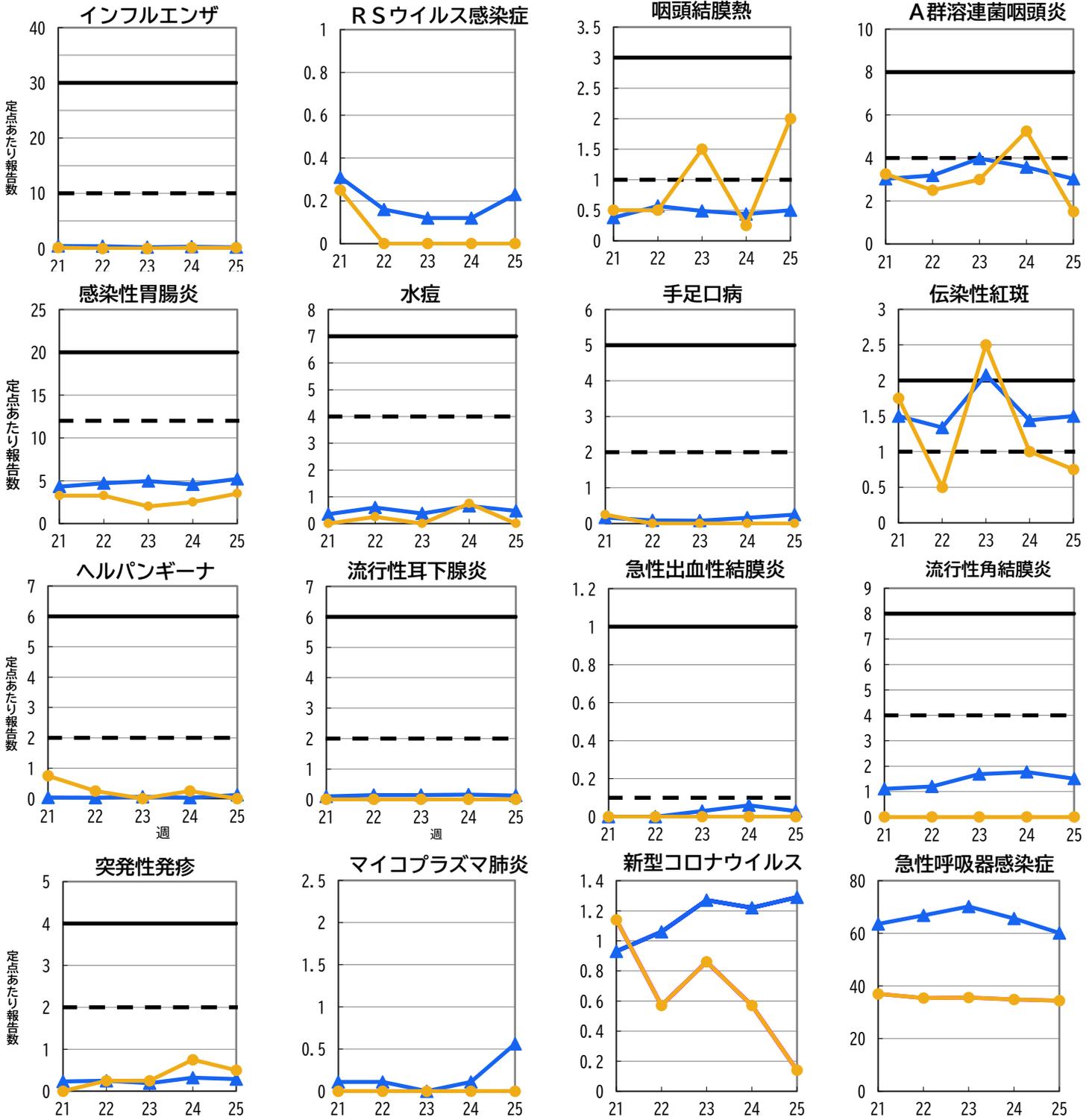
参考文献リンク集

- ▶ 国立健康危機管理研究機構 感染症発生動向調査週報 (IDWR) 最新版
- ▶ 厚生労働省・検疫所FORTH
- ▶ 厚生労働省 感染症情報
- ▶ 国立感染症危機管理研究機構
- ▶ AMR臨床リファレンスセンター
- ▶ 千葉県感染症情報センター

野田保健所管内の感染症発生動向（最近5週）

● 管内 ▲ 県全体 警報基準値 解除基準値

マイコプラズマ肺炎とクラミジア肺炎は基幹定点医療機関のみ報告。（野田保健所管内に基幹定点はありません）
 RSウイルス感染症・マイコプラズマ肺炎・**新型コロナウイルス感染症**は警報基準値等の設定はありません。
 令和7年4月7日より定点報告疾患に「急性呼吸器感染症」が追加されました（表最右下）



（グラフの見方） ※疾患により警報基準値は異なります

グラフの横軸は、「週数」を表します。また、縦軸は「定点あたり報告数（患者数）」を表します。「定点」とは、保健所に患者の発生を報告してくれる医療機関のことで、「定点あたり報告数」とは、定点一か所から一週間にどの位の患者報告があったかの平均値を表します。この数値により野田保健所管内の当該感染症の流行状況が把握できます。「定点あたり報告数」が警報基準値を超えるようであれば、当該感染症が非常に流行していることを表します。